



サポーターズ・ニュース

第17回 交流会開催!!

平成25年1月19日(土)、前橋市児童文化センターにおいて「第17回群馬県こどもエコクラブ交流会」を開催しました。

今年度は9クラブと前橋市時沢小学校緑の少年団、当日参加の皆様、計157名が参加し、ステージ発表、壁新聞&絵日記の発表、体験ブース、エコ施設の体験ツアー、おもしろ科学実験を行いました。

第1部:こどもエコクラブの活動発表

高崎北小学校「地球防衛隊」の武井さんと中島さんの司会のもと、小笠原室長のあいさつと塩崎児童文化センター館長の祝辞で交流会がスタート。各クラブともパソコンを使ったり劇を取り入れたりして、1年間の活動内容を工夫して発表しました。



「地球防衛隊」の武井さんと中島さん。とても上手な司会でした。



群馬県環境政策課 小笠原室長の挨拶



前橋市児童文化センター 塩崎館長の祝辞



元総社「わんぱく探検隊」高崎北小「地球防衛隊」



スター☆クラブ



なんきつ子どもエコクラブ



しらすわエコキッズクラブ



まなやんず



児文センター「環境冒険隊」時沢小学校緑の少年団



第2部：壁新聞&絵日記、体験ブースの展示。およびエコ施設ツアー

7のクラブが参加し16点の壁新聞と18点の絵日記が展示されました。どのクラブも独創的で地域に密着した活動内容をしっかりと紹介していました。このうち、5クラブ7枚の壁新聞と1クラブ5枚の絵日記を全国フェスティバルに応募しました。体験ブースは4クラブが出展しました。



第3部：おもしろ科学実験

湯本先生他5名の講師によりペットボトルの顕微鏡を作りました。みんな熱心に取り組みました。



金古エコクラブが上毛新聞に

掲載されましたので紹介します。



風っ子環境キャンペーン

エコ・アクション紹介編 vol.2



こどもエコクラブの「金古エコクラブ」は、9年前に誕生しました。会員は12人サポーターは6人です。モットーは「誰かができることも誰かがやりたがらないことをしよう」「子どもは未来の宝やるときは楽しんで、危険などほしくないご代表サポーターの茂木良雄さん話

ごみ拾いで新たな発見

金古エコクラブ(高橋)

大きな袋が4つも出ています。活動は、町内のごみ拾い、近々流れる井野川や牛瀬川などの環境調査、アケハチヨウが生まれるまでの自然観察、ジャイモなどをとつくる農業体験、スキ教室などです。一年を通して行っている毎週日曜日のごみ拾い、学内で燃やさない煙や田んぼを中心にゴミを拾い、サウワ真、一番多いのは空き缶で全体の60%。ビール缶やお弁当の容器、たばこも多く捨てられています。まきは、田んぼの中に入れてしまった水や尿を出してきれいにしてから分別するので、とても手が掛かります。それでも始めたいことに比べると、みはずいぶん減りました。以前は一回で

活動を続ける中で発見もありました。ごみは、桑の木の隣や畑の隅など、人目につかない所に隠すように捨てられていることが多い。ごみ拾いからのごみは話します。以前サポーターの大人が長く伸びた草を刈ったり、きそからたたくごみが出てきました。きれいにしてあげることができないものも、見つけたら、ごみ拾いでの課題が見え始めたようです。

ごみが減った分、地域がきれいになるね



キャンペーンキャラクター (エコロボ)

平成25年度

「おもしろ体験してみ隊」

会場と日程が決まりました!

日時:平成25年8月31日(土)

会場:北毛青少年自然の家(高山村)

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

群馬県環境政策課内 こどもエコクラブ群馬県事務局

Tel 027-226-2827

Fax 027-243-7702

E-mail: kondo-yutaka@pref.gunma.lg.jp